



住田高校の広報誌である「楽水乐山」は、住田高校の教育内容を校内外に向けて発信する情報紙です。自分の住む地域の水(川)や山を楽しむ(愛する)ことができる豊かな感性をもつ生徒になってほしいとの願いからそのように命名されました。本校の教育活動や生徒の活動の様子を広く保護者、地域の皆様にお知らせすることを目的として発行されます。「地域の将来を担う人材を育成できる学校」であり続けると同時に、常に「地域と共に歩む学校」「地域から愛される学校」でもあり続けたいと思います。

① 【令和5年度在籍生徒数(出身中学校地域別)】

学年	住田町	陸前高田市	大船渡市	遠野市	釜石市	その他	合計
1	7	2	6	0	3	0	18
2	4	1	5	0	7	0	17
3	10	7	10	0	4	0	31
合計	21	10	21	0	14	0	66
割合	32%	15%	32%	0%	21%	0%	100%

※本校は、陸前高田市・大船渡市・釜石市出身の生徒が全体の約7割を占めるのが特徴です。

② 【令和5年度職員紹介】

※学年欄の「正」は正担任、「副」は副担任、「付」は学年付きを表す。

No	氏名	ふりがな	教科	担当	学年	部活動
1	小山 秀司	おやま しゅうじ	数 学	校長		
2	三上 浩永	みかみ ひろひさ	数 学	副校長 教育振興会事務局長 「楽水乐山」発行		
3	三浦 仁美	みうら ひとみ	英 語	厚生相談課主任 特別支援教育コーディネーター	3B副	ソフトテニス
4	佐藤 仁	さとう ひとし	国 語	教務進路課 進路指導主事	3A副	アーチェリー
5	廣野 成道	ひろの しげみち	地 歴 公 民	総務生徒課主任 研究開発学校 総務主任	2A副	バレーボール
6	西出 和久	にしで かずひさ	理 科	教務進路課主任 研究開発学校 教務主任	3年付	アーチェリー
7	吉田 一知	よしだ かずとも	理 科	総務生徒課 研究開発学校研究主任 生徒指導主事	1A副	硬式野球
8	吉田 由紀子	よしだ ゆきこ	数 学	教務進路課 情報処理 3学年主任	3A正	パソコン
9	古澤 奏人	ふるさわ かなと	保 体	総務生徒課 教育相談 2学年主任	2A正	陸上競技
10	山崎 歌子	やまざき うたこ	音 楽	教務進路課	3年付	吹奏楽
11	菅野 誠二	かんの せいじ	英 語	総務生徒課 研究開発学校 1学年主任	1年付	特設運動
12	鈴木 博子	すずき ひろこ	養 護 教 諭	厚生相談課 保健主事	1年付	特設文化
13	佐々木卓磨	ささき たくま	数 学	総務生徒課 情報処理	1A正	硬式野球
14	藤原 大貴	ふじわら だいき	保 体	総務生徒課	3B正	バスケット

15	本間 優也	ほんま ゆうや	国 語	教務進路課	2年付	硬式野球
16	高橋由美子	たかはし ゆみこ	書 道	非常勤講師		
17	河原 牧子	かわはら まきこ	家 庭	非常勤講師		
18	森 和枝	もり かずえ	特別支 援教育	特別支援教育支援員 (かがやき支援員)		
19	小山 裕康	おやま ひろやす	部活動 指導員	アーチェリー部活動指導		アーチェリー
20	Evonna Abierra Castillo	イヴォナ・アビエラ・ カステイーリョ	英 語	N・S (非常勤講師)		
21	菊池 亘	きくち わたる		事務長		
22	小澤 智	おざわ さとし		主任		
23	小岩 優太	こいわ ゆうた		ボイラー技士兼学校技術員		
24	佐々木真紀	ささき まき		非常勤事務職員		
25	小向はるか	こむかい はるか		住高ハウス〇〇スタッフ 住田町教育コーディネーター ※英会話講師経験を活かした英語サポート		
26	佐藤 範子	さとう のりこ		住高ハウス〇〇スタッフ 住田町教育コーディネーター ※専門学校教員経験を活かした進路サポート		
27	奈良 朋彦	なら ともひこ		住高ハウス〇〇スタッフ 住田町魅力化サポーター ※理系科目・音楽サポート、住田町の情報に詳しい		
28	國廣 朱音	くにひろ あかね		住高ハウス〇〇スタッフ 住田町教育コーディネーター ※豊富な海外経験を生かしたイベントを企画		
29	佐々木 章	ささき あきら		スクール・カウンセラー		
30	黄川美保子	きかわ みほこ		就業支援員 (就職相談)		

### 令和4年度に策定した住田高校の「スクール・ポリシー」(抜粋)

自然環境の保護、ジェンダー平等、社会的弱者への思いやりと相互扶助の精神をしっかりと持ち、人間関係の基本となる礼儀作法を身につけた人間となるための資質を養うことにより、持続可能な社会の構成員として地域に貢献できる人材育成を目標とします。本校の生徒会活動目標は「爽やかなあいさつ」「きちんとした服装・態度」「まじめな仕事ぶり」です。卒業までには、これら3つの目標がしっかりと達成され、身の回りの社会に誠実に働きかける人材となるために、校訓である「自主・創造・至誠」に「共生」を加えて、以下の4つの資質・能力を養います。


- ・自主：自分から積極的にあいさつやまじめに仕事ができるなど、自主的、自律的に行動を起こすことができる。
- ・創造：多様な人・モノと出会い、失敗をいとわずに挑戦し、過去の経験や常識にとらわれずに新たな価値を創造できる。
- ・至誠：社会における自己の役割を認識し、他者に対してきちんとした服装や態度で誠実に向き合える。
- ・共生：気仙地域の豊かな自然を大切に守り続け、他者と協働して未来を生きる。

住田高校は、時代を先取りし新しいことに挑戦する意欲を持ち、地域社会の活性化に貢献したいと考えている人材を募集しています。特に、以下のような考えや意欲を持っている生徒の入学を期待しています。


- ・過去の経験や常識にとらわれることなく、新しい発想で物事に取り組みたい。
- ・過去の自分の失敗にとらわれることなく、「新しい自分」を発見してみたい。
- ・個性を認め合い、人権を尊重し、お互いの多様性を認め合える環境の中で安心して学業や課外活動に取り組んでみたい。
- ・ボランティア活動をはじめとして、他者のために役立つことをしたい。
- ・学習内容を基本から見直して、自分の可能性を広げたい。

— 3年ぶりに生徒海外派遣事業を実施 —


令和2年度から令和3年度の2年間、新型コロナウイルス感染症拡大により中断していた生徒海外派遣を再開しました。令和5年2月17日（金）～25日（土）の9日間、オーストラリアのシドニーに4名の3年生を派遣しました。これまでは、1・2年生を対象として6名～8名の生徒がアメリカやオーストラリアに派遣されてきましたが、円安と航空運賃の高騰により、参加人数を4名に減らさなければなりません。また、3年生はこれまで一度も海外派遣への応募機会がなかったことから、今回は3年生も派遣対象としました。




海外派遣では、テーブルマナーやオーストラリアドルなどの使い方が難しかったので事前に確認してから行くのがおすすめです。



オーストラリアの海外派遣は、日本では学べない感覚の違いや、距離感の近さなどを学ぶことができたのでおすすめです。



海外派遣では、多文化社会だと改めて感じ、あまり人種差別の少ない国だと思いました。色々な事を学ぶ事ができて良かったです。



オーストラリアでたくさんの人と出会い仲良くなる事ができて良かったです。



—語学研修先 (Australian Pacific College) にて—



シドニー大学にて



ミセスマッコリーズチェアに座りながら



Milsons Point オペラハウスを背に



語学学校最終日 Roxana 先生の授業